

# 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（とちち） 十勝森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 とちちとうぶ 十勝東部森林管理署 とちちせいぶ 十勝西部森林管理署 ひがしだいせつ 十勝西部森林管理署東大雪支署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の南東部に位置する足寄町を含む1市12町2村（流域面積約1,083千ha）にまたがる、十勝東部森林管理署、十勝西部森林管理署及び十勝西部森林管理署東大雪支署管内の国有林野約419千haを対象としている。</p> <p>本計画区内の約64%を森林が占め、そのうちの約60%が国有林となっている。国有林の森林の現況は、人工林が約54千ha、天然林が約331千haとなっており、人工林はトドマツ（65%）、エゾマツ（20%）を主な樹種とし、天然林は、トドマツ、エゾマツ等の針葉樹とミズナラ、シナノキ、カンバ類等の広葉樹からなる針広混交林である。</p> <p>森林の蓄積は、183 m<sup>3</sup>/haで、北海道の平均154 m<sup>3</sup>/haより多い。また、人工林の齢級構成は10齢級をピークとする一山型であり、人工林面積のうち約55%が10齢級以上となっており、森林資源の充実とともに本格的な利用期を迎えつつある。</p> <p>さらに、約419千haの国有林野のうち約95%が水源かん養保安林を主とした保安林に指定されており、地域の水源林として機能するほか、基幹産業である農業及び水産業の振興に資する観点からも適切な森林整備が求められている。</p> <p>本計画区は、日高山脈森林生態系保護地域、大雪山森林生態系保護地域等の保護林や、十勝川源流部原生自然環境保全地域など、学術的に貴重な森林も多く、大雪山国立公園、阿寒摩周国立公園及び日高山脈襟裳国立公園に指定されている国有林は、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されており、観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>これらのことから、多面的機能の持続的発揮を図ることができる多様な森林づくりのほか、適切な間伐や主伐後の確実な更新、林地保全に配慮した森林づくりの実施など、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>さらに、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システム、伐採と造林の一貫作業システム、低密度植栽、コンテナ苗植栽などによる造林及び保育の低コスト化の取組を推進することにより、本地域における林業の成長産業化の実現に向けて国有林の役割を継続的に果たすことが求められる。</p> <p>本事業ではこれまでの評価結果を踏まえ、以上のような地域の期待に応えるためにも、森林の有する公益的機能を持続的に発揮するために必要な森林整備を推進するとともに、これらの効率的な実施及び木材等生産機能の向上を図るための</p>		

	<p>路網整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>2,722ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>33,455ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>21.69km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.01km</td> </tr> </table> </li> <li>・ 総事業費 14,876,434 千円 (税抜き 13,524,031 千円)</li> </ul>	森林整備	更新面積	2,722ha		保育面積	33,455ha	路網整備	開設延長	21.69km		改良延長	1.01km
森林整備	更新面積	2,722ha											
	保育面積	33,455ha											
路網整備	開設延長	21.69km											
	改良延長	1.01km											
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td style="text-align: right;">93,280,242 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td style="text-align: right;">19,714,463 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">4.73</td> </tr> </table>	総便益 (B)	93,280,242 千円	総費用 (C)	19,714,463 千円	分析結果 (B/C)	4.73						
総便益 (B)	93,280,242 千円												
総費用 (C)	19,714,463 千円												
分析結果 (B/C)	4.73												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であるとする。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本地区の森林は、10 歳級以上の面積割合が約 55%を占め、森林資源の充実により本格的な利用期を迎えつつある。そのため路網整備と保育を中心とする森林整備を進め、今後の木材産業の振興に寄与することが期待されている。また、日高山脈森林生態系保護地域等の学術的に貴重な地域や、多くの人々に利用される大雪山国立公園等の観光資源としての機能を併せ持つ森林が分布している。さらに、基幹産業である十勝の農業と、十勝・釧路沿岸の水産業の振興に資する水源涵養機能の発揮も併せて求められている。以上により、本地区の森林環境保全整備事業の必要性が強く認められる。</li> <li>・ 効率性： 今後の森林施業を見据え、利用区域内における施業の優先度を勘案した路網整備が計画され、高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着、伐採と造林の一貫作業などによる伐採再造林の経費縮減等が図られていることから、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 計画的で効率的な本事業の実施により、森林の有する多面的機能が持続的に発揮され、水源林の保全や地域の基幹産業である農業及び水産業の振興や地球温暖化の防止等に寄与し引き続き効果の発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目 (チェックリスト)、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能 (特に水源涵養) に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されていると認められる。</p>												

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：十勝森林計画区(十勝東部森林管理署、十勝西部森林管理署、東大雪支署)

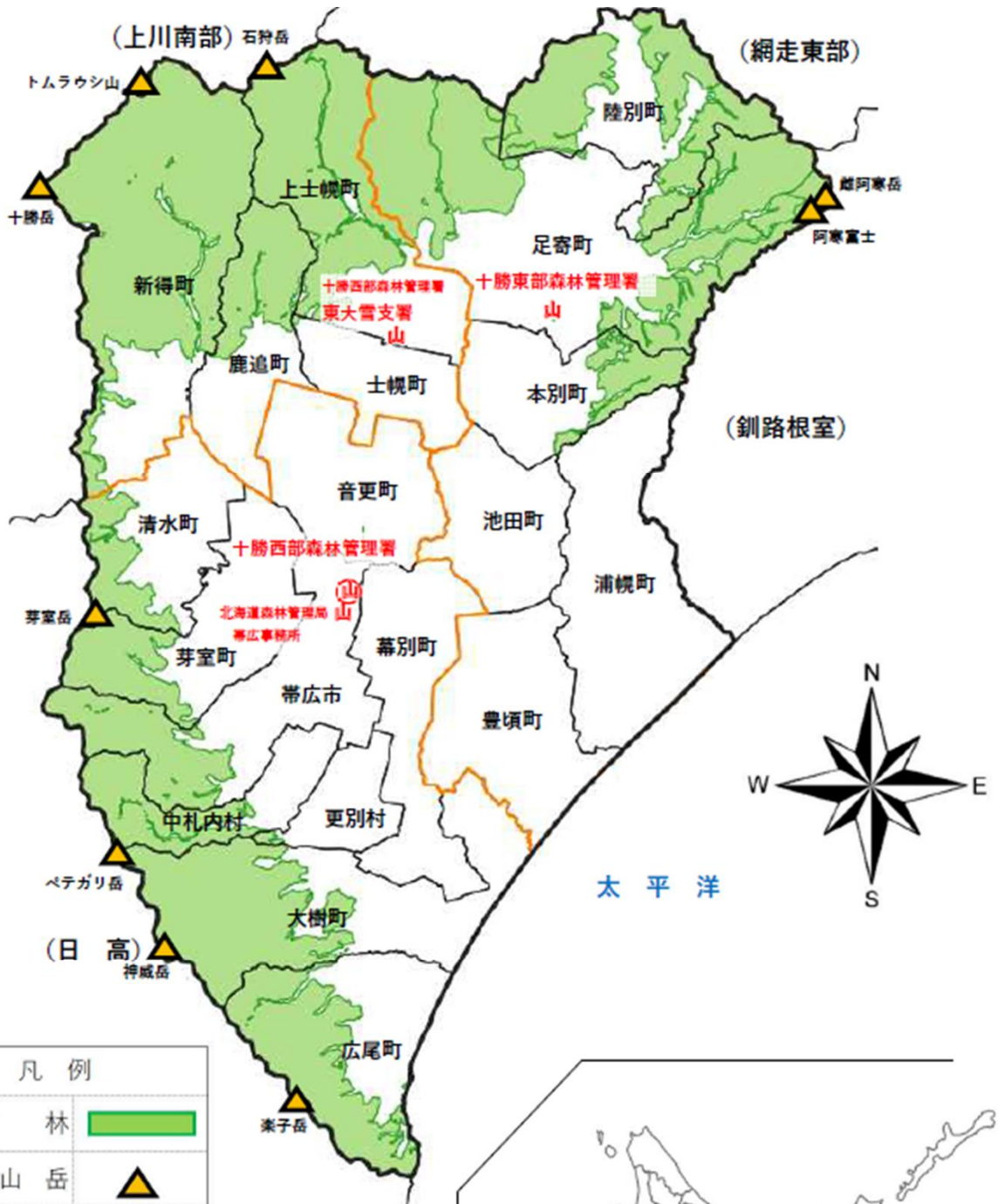
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	24,280,434	
	流域貯水便益	5,701,232	
	水質浄化便益	22,035,630	
山地保全便益	土砂流出防止便益	34,160,078	
環境保全便益	炭素固定便益	2,971,825	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	601,193	
	木材利用増進便益	244,534	
	木材生産確保・増進便益	1,519,423	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	182,609	
	森林整備促進便益	1,583,284	
総 便 益 (B)		93,280,242	
総 費 用 (C)		19,714,463	
費用便益比	$B \div C = \frac{93,280,242}{19,714,463} = 4.73$		

# 森林環境保全整備事業

## 十勝森林計画区 事業概要図

(十勝東部森林管理署、十勝西部森林管理署、  
十勝西部森林管理署東大雪支署)



凡例	
国有林	
主要山岳	
森林計画区界	
森林管理署界	
森林管理署	
市町村界	



### 森林整備

更新面積 2,722 ha  
 保育面積 33,455 ha

### 路網整備

開設延長 21.69 km  
 改良延長 1.01 km